

《担当者名》非常勤講師 / 三浦 なつみ

【概要】

パリを舞台にフランス語を使うという設定から、フランス語の基礎を確認しながら、フランス語の語彙、文法、表現力の基本技能を総合的に養成することをめざす。

また、並行して、現代のフランス文化を話題として取り上げ、DVDなど視聴覚教材等を用いて理解を深める。

【学修目標】

フランス語の音と綴りの規則を理解する。

フランス語の基礎から総合的に学習していくことで、フランス語コミュニケーションの基本を身につける。

フランス文化への理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション・復習	授業内容の説明を行い、1年次のフランス語の確認・復習を行う。	三浦 なつみ
2	復習	1年時の復習	三浦 なつみ
3	復習、ミニ発表(1)導入	1年時の復習、ミニ発表(1)概要解説	三浦 なつみ
4	ミニ発表(1)	ミニ発表(1)自己紹介を発表する～原稿作成、練習。	三浦 なつみ
5	ミニ発表(1)	ミニ発表(1)原稿完成、最終チェック	三浦 なつみ
6	ミニ発表(1)	ミニ発表(1)発表会実施。	三浦 なつみ
7	ミニ発表(2) (教科書7課)	ミニ発表(2)導入、不規則動詞aller/venirの用法と活用を学ぶ。	三浦 なつみ
8	ミニ発表(2) 近い未来・近い過去(教科書7課)	近い未来・近い過去を学ぶ。ミニ発表(2)近接未来を用いてヴァカンスの計画を話す会話シナリオを作成する。	三浦 なつみ
9	ミニ発表(2)	ミニ発表(2)作成シナリオの最終チェック、口頭発表練習。	三浦 なつみ
10	ミニ発表(2)	ミニ発表(2)発表会実施。	三浦 なつみ
11	ミニ発表(3)、準動詞の用法(教科書10課)	ミニ発表(3)概要解説、原稿作成。準動詞：vouloir, pouvoir, devoirの用法を学ぶ。	三浦 なつみ
12	ミニ発表(3)	ミニ発表(3)作成シナリオの最終チェック、練習、発表会実施。	三浦 なつみ
13	過去を語る(教科書12課)	複合過去、さまざまなときの表現を学ぶ。	三浦 なつみ
14	過去を語る	複合過去のさまざまな練習を行う。	三浦 なつみ
15	半期の確認、まとめ	これまで学習した内容についてまとめ、説明できる。	三浦 なつみ

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

平常点(授業内でのプリント提出あるいは授業後の課題オンライン提出、その他提出物・宿題、授業への取り組み)(20%)

ミニ発表、到達度確認テスト(80%)

・提出物は添削又はコメントを付して返却し、授業内にて解説するので、復習に活用すること。

・テストは採点后、次の授業にて必ず返却し、答え合わせ・解説を行う。

【教科書】

『なびふらんせ1 パリをめぐる』有富 智世 ほか 著、朝日出版社、2016年

【学修の準備】

毎回授業時に提出プリントがあるので、授業をよく聞く。

不定期に宿題が出ることもあるので、必ず期日までに提出する。

発音練習の際には声を出し、ペア・グループ学習をする際には積極的に参加する。

予習としては、毎回授業の最後に次回の学習箇所を指示するので、教科書に目を通す（目安所要時間80分）。

復習としては、授業終了後、教科書や使用したプリントを必ず確認して学習を深め（目安所要時間80分）。

・予復習の詳細については、初回授業にて改めて説明がある。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を外国語の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を外国語の観点から修得する（社会的貢献）。